

「産業保安のスマート化」のその先



後藤 雄三

私たち産業保安グループでは、ここ数年、「産業保安のスマート化」に取り組んできました。これは、保安規制をリスクに応じた賢い仕組みにするとともに、自主保安の原則の下、企業の保安力を一層高めていこうとするものです。

そもそも保安規制は、ナショナル・ミニマムであり、技術の進展や社会の要請に対応し、合理的なものにすべきです。このため、技術基準の性能規定化など、新しい技術を柔軟かつ積極的に導入し、リスクに応じて適切に規制を見直す取り組みを不断におこなっています。規制すべきは規制し、合理化すべきは合理化します。ここ20～30年は規制を合理化する動きが続きましたが、最近では、サイバー攻撃など新たな脅威に対応すべく規制強化する動きも出ています。

また、サステナブルに社会の安全を確保していくためには、保安の現場を預かる事業者がその保安力を絶えず維持・向上する必要があります。安全はタダでは達成できません。その原資もしっかり稼ぎながら、保安をコストではなく将来を見据えた投資として捉え、事故という外部不経済を経営の中に内部化していただきたいと思います。このため、高圧ガス保安法のスーパー認定事業所制度などポジティブ・インセンティブ制度も導入いたしました。また、保安に積極的に投資する企業が市場で評価される仕組みづくりも研究をしています。

このようにして、産学官民連携・協力の下、我が国の「保安エコシステム」を構築していきたいと考えています。

改めて申すまでもなく、産業・社会は大きなパラダイム転換期を迎えています。第四次産業革命は、これまで実現不可能とされていた社会の実現を可能とし、産業構造や就業構造に劇的な変化をもたらします。また、個々人も、人生100年時代において、自律的なキャリア形成が求められます。世界は、保護主義など不安定要因の出現の一方で、気候変動等の地球規模の課題も顕在化しています。2017年には、国連が初めて全会一致で歴史的な合意をしました。SDGs(Sustainable Development Goals)です。世界各国・企業は、大きく動き出しています。

世界は極めて複雑性が高くなっており、問題はジグソーパズル型からルービックキューブ型に変化しています。前者はどんなに複雑でも、一つ一つピースを埋めていけばいつかはパズルが解けるのに対し、後者は一つ打った手が別の問題を引き起こし、さらに複雑になります。17分野を掲げるSDGsは、17×17×17のルービックキューブかもしれません。

“Smart Industrial Safety” & Beyond

Yuzo GOTO

1991年 東京大学工学部精密機械工学科卒業

同年 通商産業省(現経済産業省)入省

2000年 米国カーネギーメロン大学公共政策大学院公共管理学修士

2007年 大臣官房秘書課企画調査官

2008年 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)北京事務所長

2012年 製造産業局水ビジネス・国際インフラシステム推進室長(併)国際プラント推進室長

2013年 貿易経済協力局技術協力課長

2015年 商務流通保安グループ電力安全課長

2017年 産業保安グループ保安課長

連絡先：〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

E-mail goto-yuzo@meti.go.jp

世界が大きく変化している中で、私たちは過去の延長線の発想でいいでしょうか。今後サステナブルに保安を確保できるでしょうか。このため、私たちは、試行錯誤しながら、スマート保安のその先を探り始めています。

その一つが、データ利活用と企業間連携の促進です。弊省では、我が国産業が目指す姿として“Connected Industries”を掲げていますが、その重点分野の一つがプラント・インフラ保安分野です。現在、競争ではなく協調すべき領域で保安データを共有し、企業間の連携を促進することで、我が国の産業競争力に繋げながら、新しい時代の保安の構築に取り組んでいます。

また、海外にも目を向け始めました。国内だけに閉じていて、本当にサステナブルに保安を確保できるとは限りません。同じような課題を抱える国もあります。こうした国と課題を共有しつつ、ビジネスベースで課題解決を図りたいと思います。その経験は我が国にも活きるでしょう。昨年6月には、タイと協力覚書を交わしました。現在、天津の化学工場爆発を契機に安全を重要視し出した中国とも関係を構築し始めています。

さらに、その先を見据えていくことも必要です。昨年4月の産業構造審議会の分科会では、若手チームが斬新な提言をしてくれました。保安の視点だけでなく、そもそも産業構造も見直していこうというものです。これまで、設備所有者がオペレーションやメンテナンス(O&M)をするのが前提でしたが、例えば風力発電は所有とO&Mが切り離されています。保安確保だけでなく、産業の在り方も含めて議論すべき時が来ているのかもしれない。

是非とも、皆様と忌憚なく意見を交換させていただければと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。